

## 安全データシート

作成日:2003年4月7日

改訂日:2020年2月28日

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

オレイルアルコール

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

AE0167

整理番号

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル

皮膚腐食性・刺激性:区分2



注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

警告

皮膚刺激

【安全対策】

取り扱い後はよく手を洗うこと。

適切な保護手袋を着用すること。

【応急処置】

皮膚に付いた場合:多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【保管】

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

引火性がある。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

## 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

濃度又は濃度範囲

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

化学物質

オレイルアルコール

9-オクタデセン-1-オール

 $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_7\text{CH}=\text{CH}(\text{CH}_2)_7\text{CH}_2\text{OH}$ 

CAS RN:143-28-2

-

(2)-258

## 4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師の診断/手当てを受けること。

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除くこと。

皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

口をすすぐこと。意識がある場合は吐かせること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤

水溶性液体用泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧

使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	該当情報なし。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
	安全に対処できるならば着火源を除去すること。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。
<b>6. 漏出時の措置</b>	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用する。（自給式呼吸器付き化学保護具）
	作業の際は適切な換気を行う。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れた液やこぼれた液を密閉式の容器に出来る限り集める。
	残留液を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。
二次災害の防止策	すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。
<b>7. 取扱い及び保管上の注意</b>	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体排気)	作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
安全取扱い注意事項	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
	あらゆる接触を避けること。
接触回避	強酸、酸化剤との接触を避ける。
衛生対策	作業中は飲食、喫煙をしない。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	消防法の規制に従うこと。
	強力な酸、酸化剤から離しておくこと。
安全な容器包装材料	ガラス等
<b>8. 暴露防止及び保護措置</b>	
許容濃度（出典）	
管理濃度	未設定
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	自給式呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業着を着用する。
<b>9. 物理的及び化学的性質</b>	
物理状態	液体
色	淡黄色
臭い	該当情報なし。
融点・凝固点	13-19℃
可燃性	該当情報なし。
沸点、初留点及び沸騰範囲	333-335℃
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	170℃
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	517℃
pH	該当情報なし。
動粘性率（粘度）	該当情報なし。
溶解度	0.07mg/L (25℃)
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	0.000093mmHg (25℃)
密度及び/又は相対密度	0.85

相対ガス密度	9.3
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の取り扱いにて安定
危険有害反応可能性	可燃性がある。
避けるべき条件	加熱、高温、火気
混触危険物質	強酸、酸化剤
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
生色毒性	経口：該当情報なし。(分類できない)
	経皮：該当情報なし。(分類できない)
	吸入：該当情報なし。(分類できない)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	EUフルールR36/37/38 (眼、呼吸器系、皮膚に刺激性がある)であり区分2に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	該当情報なし。(分類できない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	—
品名 (国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法 (PRTR法)	指定化学物質に該当しない
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない
消防法	危険物第4類第3石油類
16. その他の情報	
引用文献	The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vor. 3 製品評価技術基盤機構 (NITE) HP 政府向けGHS分類ガイダンス

経済産業省HP

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。